

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

●フリーダイヤル
☎ 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6374-5687	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99266901 111 G

HIKOKI

取扱説明書

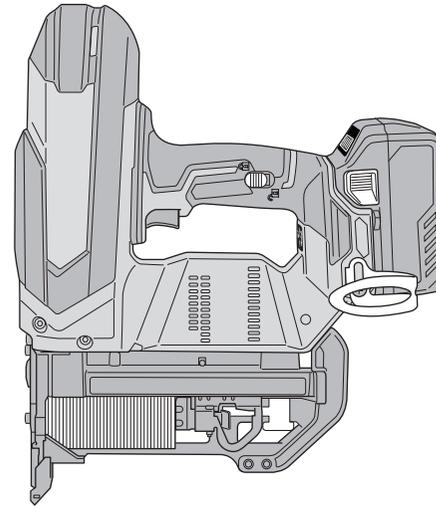
用途

●フローリングの施工

コードレスフロア用タッカ

36V N 3604DM

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	8
仕様	9
標準付属品	10
別売部品	10

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け	11
1充電当たりの作業量について	11
フックの使い方	12
六角棒スパナの収納について	12
LED ライトの使い方	13
警告シグナルについて	14
ご使用前の点検・準備	15
ステーブルの装てんと抜き取り	17
ステーブルを打つ	19
打ち込み深さの調整	21
空打ち防止機構について	22
ステーブルの取扱い方	22
ステーブル詰まりの直し方	23

その他

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⚠️注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調整に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、コードレス工具の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスフロア用タッカについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️警告

- ① **保護メガネを使用してください。**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。ステーブルを連結している接着剤や打ち損じのステーブルが目にあたると、けがの原因になります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に作動しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを押し込んで上下させたとき、スムーズに動くこと。
 - 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ることで、異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチがロックされていること。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。誤ってステーブルが発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**

本製品は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引かないと、ステーブルが発射されない構造になっています。ステーブルを装着する前に蓄電池を取付け、フィーダを後方へ引いた状態で次の点検をしてください。

 - スイッチを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、作動音がしないこと。異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ **人体に射出口を向けないでください。**

人体に射出口を向けて、誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 高所作業のときは、ステーブル打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。転倒や落下など、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑨ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
誤ってステープルが発射したり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ⑩ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ⑪ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑫ ステープルを打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。
ステープルが突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑬ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
ステープルを打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑭ ステープルを打ち込むとき以外はスイッチをロックしてください。また、スイッチに指を掛けないでください。
• スwitchに指を掛けて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
• ステープルを装てんするときや調整などをするとき、スイッチに指を掛けないでください。
誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑮ 次の場合は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
• 使用しない場合や作業中断時、修理する場合。
• 点検・修理・調整、ステープル詰まりの直しなどの場合。
• ステープルの装てん、または抜き取る場合。
誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑯ ステープルを打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。
ステープルがはね返ったり、機体が反発することもあり、けがの原因になります。
- ⑰ 作業中は周りの人に注意してください。
• ステープルを連結している接着剤やテープの破片、打ち損じたステープルが当たる恐れがあります。
• 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑱ 薄い板や木材の端にステープルを打たないでください。
薄い板に打つとステープルが突き抜けたり、木材の角に打つとステープルがそれたりして、けがの原因になります。
- ⑲ 機体の反発に注意してください。
かたい所に打った場合、機体のはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

⚠警告

- ⑳ 壁の両側から同時にステープル打ち作業をしないでください。
打ったステープルが突き抜けたり、壁ぎわのステープルがそれたりして、けがの原因になります。
- ㉑ 以下の場所では、次のことに注意してください。
• 屋根などの斜面でステープルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
• 床などの水平面でステープルを打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
• 壁などの垂直面にステープルを打つときは、上から下へ作業してください。
- ㉒ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときはスイッチをロックし、蓄電池を取りはずして機体やステープルなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
特に次の点に注意してください。
• プッシュレバーを押し込んで上下させたときスムーズに動くこと。
• 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ること。
- ㉓ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等を起こす原因になります。
- ㉔ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
• 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
• 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
• 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ㉕ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ② スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ③ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

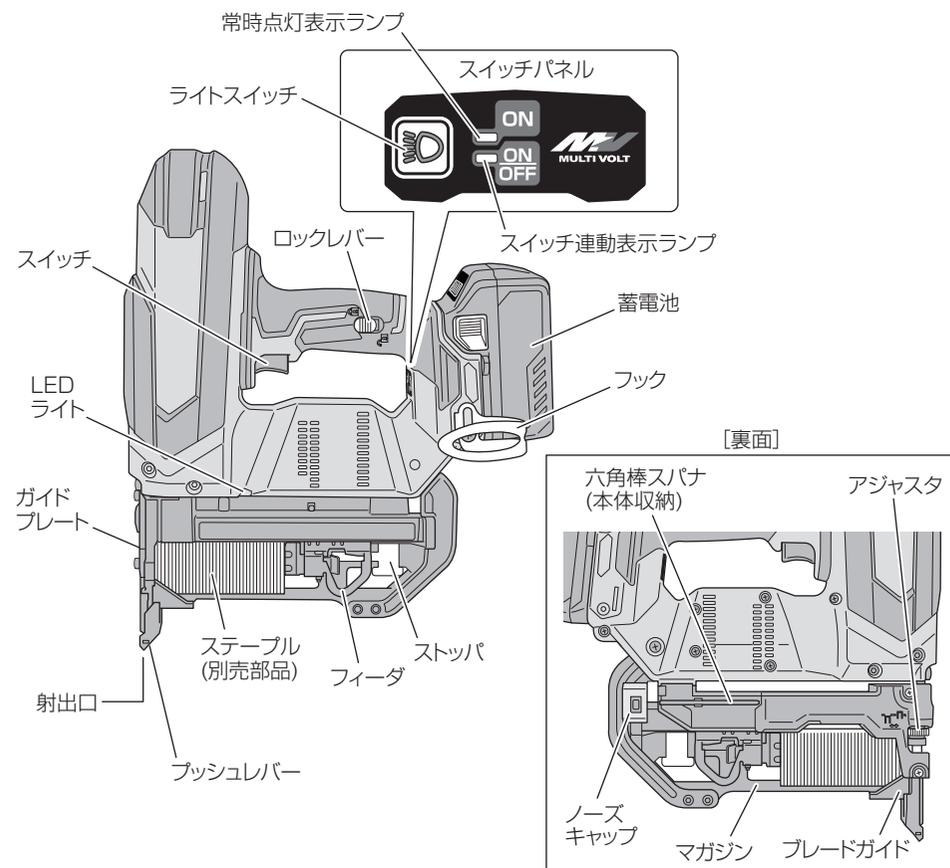
⚠ 警告マークについて



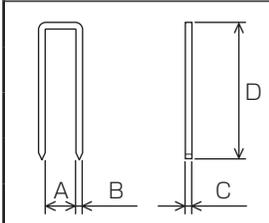
このマークのある操作・手順では、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、ステーブルの装てん、抜き取りなどをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

各部の名称



仕 様

形 名	N 3604DM				
使用可能ステーブル	(寸法単位: mm)				
	形 状	A	B	C	D
		3.85	0.95	1.25	16
					19
					25
					32
38					
ステーブルの装てん数	90本(1連+15本)				
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター				
工 具 本 体 寸 法 全長×高さ×幅	282×321×87mm (BSL 36A18 装着時)				
質 量	3.1 kg (BSL 36A18 装着時)				
L E D ラ イ ト	白色LED				
使用可能蓄電池	マルチポルトタイプ蓄電池				

標準付属品

部 品 名	仕 様	XP	NNK
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。		1個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1台	—
平打ち用ノーズキャップ		1個	1個
六角棒スパナ 3mm (本体収納)		1個	1個
保護メガネ		1個	1個
収納ケース		1個	1個
電池カバー		1個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

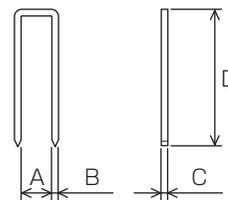
ステーブル

この機体は、下の表に示すステーブルが使用できます。ステーブルは約75本が1連に接着されています。

寸法はおおよその値を示しております。ステーブルは、このコードレスフロア用タッカをお買い上げの販売店でお求めください。

注 ステーブルは弊社指定のステーブルを使用してください。
指定以外のステーブルを使用するとステーブル詰まりすることがあり、故障の原因になります。

(寸法単位: mm)

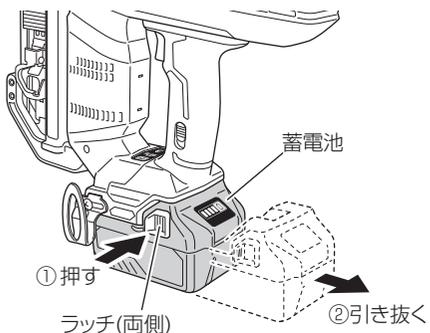


形 名	A	B	C	D
B0416F	3.85	0.95	1.25	16
B0419F				19
B0425F				25
B0432F				32
B0438F				38

蓄電池の取りはずし・取付け

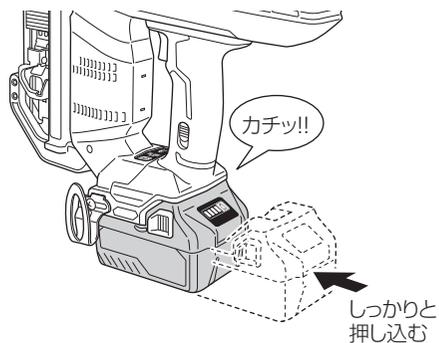
取りはずすとき

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



取付けるとき

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。
(打ち込み本数は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。)

(蓄電池 BSL 36A18 使用時)

打ち込み本数

約 2,200 本



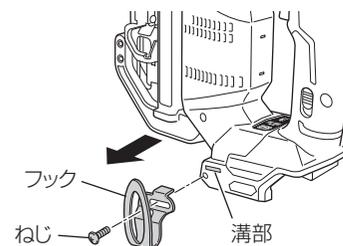
フックの使い方

フック(別売部品)は、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

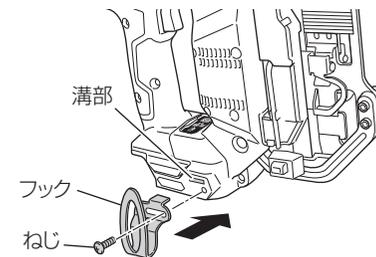
⚠注意

- フックを腰ベルトに掛けて機体を運ぶときは、先端工具を取りはずしてください。
- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

プラスドライバーを使用して、ねじをはずします。

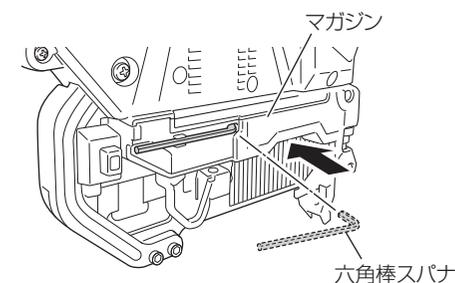


取付けのときは、逆の手順で行ってください。



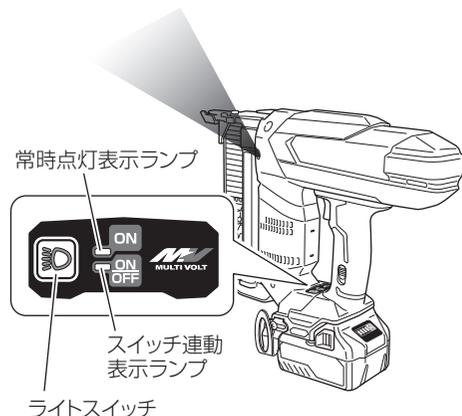
六角棒スパナの収納について

マガジンに六角棒スパナを収納することができます。
右図のように収納してください。



LED ライトの使い方

ライトスイッチを押して、LEDライトの点灯モードを切り替えることができます。



点灯モード	スイッチ連動	OFF	常時点灯
ランプの点灯状態			
状態	プッシュレバーを押し付けたとき、またはスイッチを引いたとき点灯 (スイッチをはなしてから約30秒後に自動消灯)	消灯	点灯 (約2分後に自動消灯)

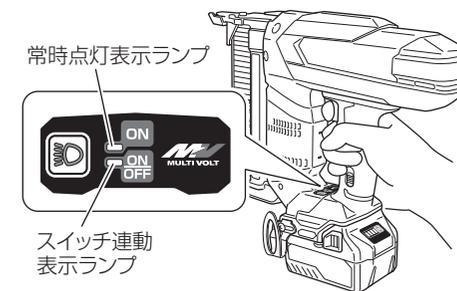
- 注**
- 常時点灯モードは、LEDライトの消し忘れによる蓄電池の消耗を防止するため、約2分経過すると自動で消灯します。
 - ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

警告シグナルについて

本製品は、工具本体の状態を検出する機能が付いており、作業中に各検出機能が作動すると、表示ランプが以下のように点灯してお知らせします。

各検出機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。

注 対処方法を実施しても改善しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



状態	表示ランプ	対処方法
電池電圧低下状態*	 緑色片側点滅	蓄電池を充電してください。
過負荷状態	 赤色点滅	蓄電池を取りはずし、P.23「ステープル詰まりの直し方」に従い、大きな負荷となった原因(ブレードガイドに詰まったステープル等)を取り除いてください。
その他	その他の点滅	故障の可能性があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
高温状態	 LED ライト明暗点灯 + 緑色明暗点灯	蓄電池および工具本体を十分に冷ましてください。
ステープル詰まり	 LED ライト点滅 + 赤色交互点滅	蓄電池を取りはずし、P.23「ステープル詰まりの直し方」に従い、詰まったステープルを取り除いてください。

* 低温状態のときは、蓄電池残量があっても「電池電圧低下」を検出する場合があります。



ご使用前の点検・準備

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●ステープルの準備と安全点検

用途に合ったステープルを準備してください。(P.10「別売部品」参照)
P.25「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

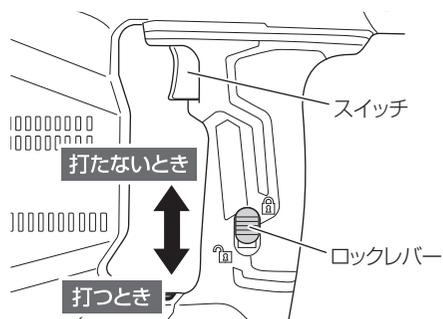
●スイッチのロック機構について

この機体には、スイッチを引けなくするロック機構が付いています。

ロックレバーを「」の位置にすると、スイッチがロックされます。

打つときはロックレバーをスライドして「」の位置にし、打たないときは「」の位置にしてください。

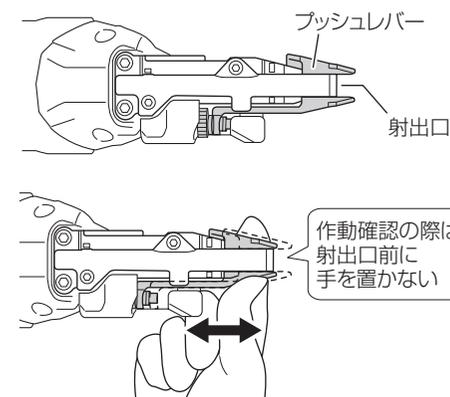
また、「」の位置でスイッチが引けないことを確認してください。



●プッシュレバーの摺動確認

プッシュレバーが、スムーズに摺動することを確認してください。

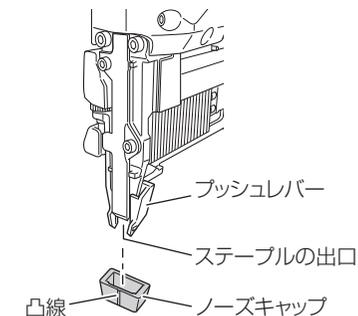
動きが悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。



●平打ち用ノーズキャップの使い方

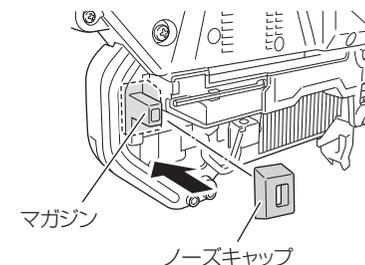
フロア（床張り）打ち作業以外の平打ち作業をする場合は、プッシュレバーに平打ち用ノーズキャップを取付けます。

平打ち用ノーズキャップの取付けは、凸線のある側を前方にしてプッシュレバーにさし込みます。



ノーズキャップの保管

取りはずしたノーズキャップは、右図に示すように、マガジンにさし込んで保管してください。



ステープルの装てんと抜き取り

 この作業時は必ずスイッチをロックし、蓄電池を取りはずしてください。

注 空打ち、ステープル詰まりなど不具合の原因になりますので、以下を守ってください。

- ステープルは5本以上連結された物を使用してください。
- 長さの違うステープルを同時に装てんしないでください。
- 連結本数の少ないステープルを、一度に数連装てんしないでください。
ステープル詰まりなど、不具合の原因になります。
- ステープルに接着剤のはみ出し等がないか、装てん前に確認してください。



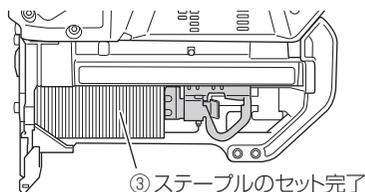
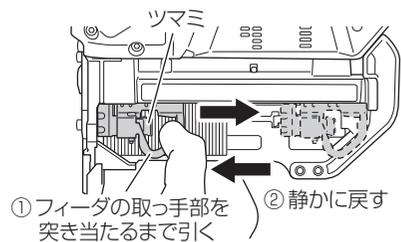
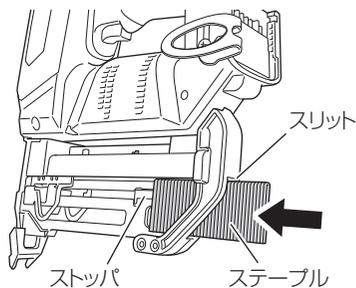
ステープルの装てん

本機は、16 mm から 38 mm までの長さのステープルが使用できます。

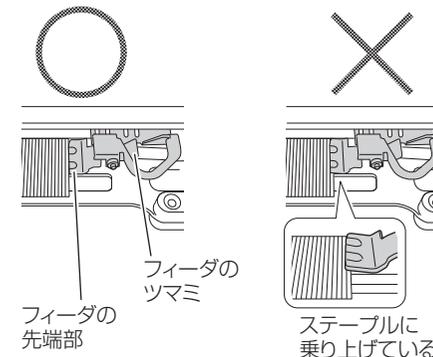
1 工具本体から蓄電池を取りはずし、スイッチをロックします。

2 マガジン後方のスリットからステープルを入れ、ストップの奥までさし込みます。

3 フィーダのツマミを押さずに、取っ手部に指をかけてマガジン後部に突き当たるまで引き、静かに戻します。
フィーダを戻す際、フィーダのツマミを押したまま行くとステープルがセットできません。



注 フィーダの先端部がステープルに乗り上げると、空打ちの原因になります。ステープル装てん後、フィーダの先端部がステープルに乗り上げていないことを確認してください。

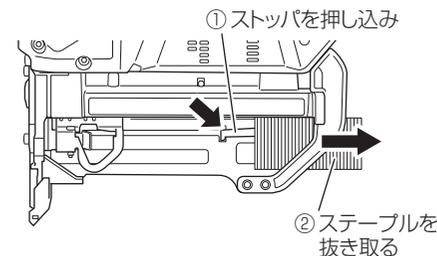
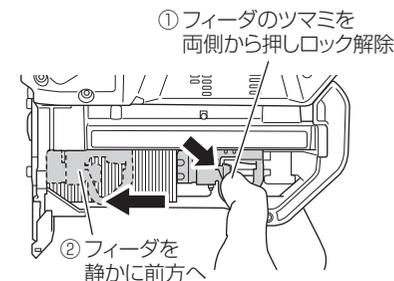


ステープルの抜き取り

1 工具本体から蓄電池を取りはずし、スイッチをロックします。

2 フィーダのツマミを両側から挟んで押し込み、ロックを解除します。フィーダは静かに前方に戻してください。

3 ストップを押し込んでステープルを開放し、そのままマガジン後方のスリットから抜き取ります。



注 •ブレードガイド内にステープルが残ってしまうことがあります。ブレードガイド内に残ったステープルは見えにくいので、ステープルが残っていないか確認してください。
•ステープル詰まりしてステープルが抜き取れないときは、P.23「ステープル詰まりの直し方」を参照してください。

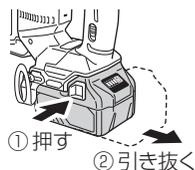
ステープルを打つ

●フローリングの施工

- 注**
- 低温時に使用すると、機体の動きが悪くなることがあります。蓄電池を充電して使用してください。
 - 材料のかたさ・厚さ・組み合わせによってはステープルが曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちをしてから使用してください。

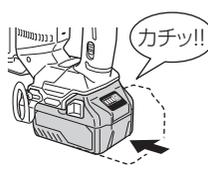
1 蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



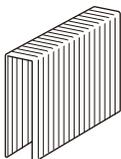
4 蓄電池を取付ける

しっかりと押し込んでください。



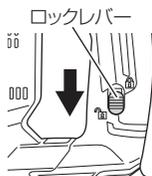
2 ステープルを装てんする

用途に合った寸法のステープルをマガジンに装てんしてください。(P.17「ステープルの装てん」参照)



5 ロックレバーのロックを解除する

(P.15「スイッチのロック機構について」参照)

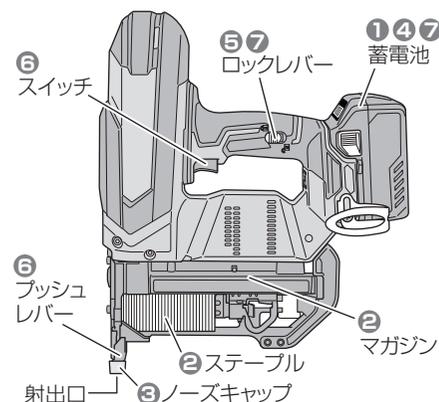


3 ノーズキャップを取付ける

必要に応じてノーズキャップを取付けます。



(P.16「平打ち用ノーズキャップの使い方」参照)



警告

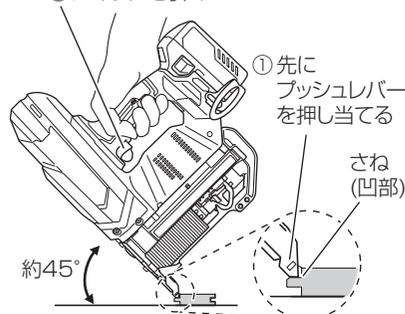
プッシュレバーを固定しないでください。
誤ってステープルが発射した場合、けがの原因になります。

6 ステープルを打つ

(安全装置について参照)

フローリング作業はフロア材の浮き上がりを防止するため、機体の打ち込み角度は約45°にし、プッシュレバー(フロア打ち用)の先端凸部をフロア材のさね(凹部)に確実に押し付けてスイッチを引きます。

②スイッチを引く



- 注**
- ステープルの打ち込みが不完全なときは、本機の頭部をしっかりと押さえて打ち込んでください。
 - ステープルの打ち込み深さ調整はP.21「打ち込み深さの調整」を参照してください。

7 作業を終了する

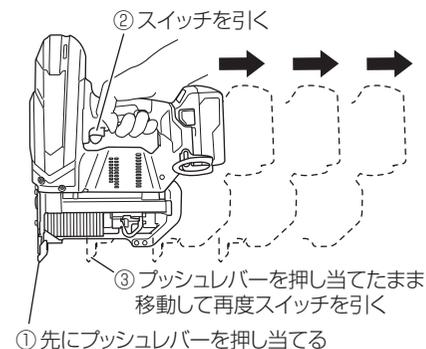
作業後は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いて、ステープルを全部抜き取ってください。(P.18「ステープルの抜き取り」参照)

安全装置について

本製品は、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当て、スイッチを引くとステープルが発射します。逆の手順(先にスイッチを引き、プッシュレバーを押し付ける)を行ってもステープルは発射されません。従って、スイッチを引いただけのとき、または、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、ステープルは発射しません。これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけでステープルが発射されることを防ぐためです。また、プッシュレバーを押し当てたまま4秒以内にスイッチを引かないと打てません。このときは、対象物からプッシュレバーをはなしてください。

[引きずり打ち]について

ステープルを打った後、プッシュレバーを対象物に押し当てた状態で、次の打ち込み位置へ移動して再度スイッチを引いてもステープルを打つことができます。



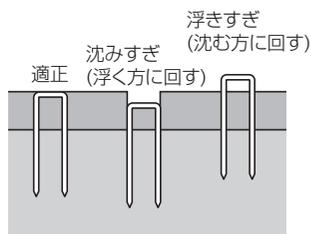
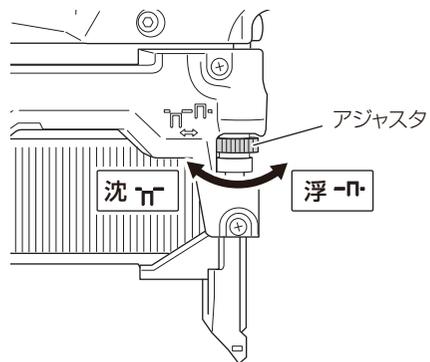
🔧 打ち込み深さの調整

アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。

試し打ちし、ステープルが沈みすぎるときは、アジャスタを浮く方(マーク ↑)に回します。

ステープルの頭が浮くときは、アジャスタを沈む方(マーク ↓)に回します。

アジャスタは、1回転させるごとに0.25 mm 移動します。



空打ち防止機構について

この機体はステープルがなくなった後の空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。

ステープルがなくなると、機体が作動しなくなります。

ステープルの取扱い方

- 注** •ステープルは、ていねいに扱ってください。
落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用するとステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生することがあります。連結部が切れたステープルは使用しないでください。
- ステープルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。
さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。ステープル梱包箱などに入れて保管してください。

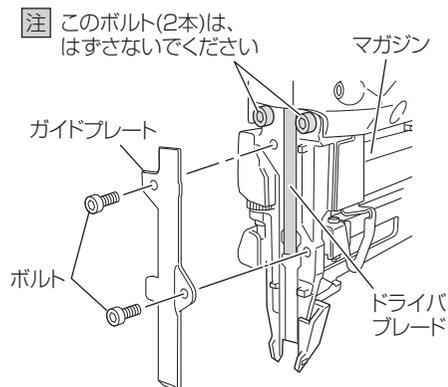
🔧 ステープル詰まりの直し方

 この作業時は必ずスイッチをロックし、蓄電池を取りはずしてください。

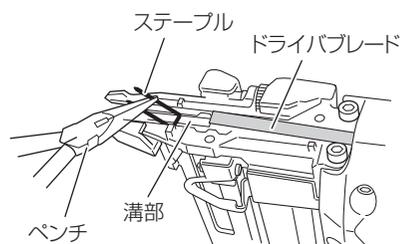
⚠️ 注意

詰まったステープルを取り除く際は、ペンチやマイナスドライバーなどを用いてください。
ドライバブレードが不意に動くことがあり、けがの原因になります。

1 マガジンに入っているステープルを全部抜いてください。
(P.18「ステープルの抜き取り」参照)



2 マガジン後部に収納してある六角棒スパナを使用してガイドプレートをはずします。
(P.12「六角棒スパナの収納について」参照)

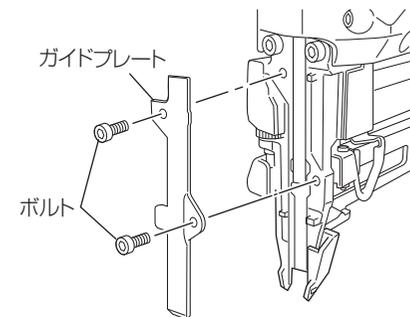


3 詰まったステープル、破片、接着剤、木くずなどをペンチやマイナスドライバーなどで取り除きます。

⚠️ 注意

ステープル詰まりを起こしたまま、またはガイドプレートを取りはずした状態で機体を作動させると、故障の原因になります。

4 ガイドプレートを取付けます。



5 組み立て後、プッシュレバーがスムーズに摺動することを確認します。

注 •ステープル詰まりを直した後の初回作動時は、警告シグナルが(その他の点滅)点滅する場合があります。その場合スイッチをロックし、蓄電池を抜きさして、再度作動させてください。

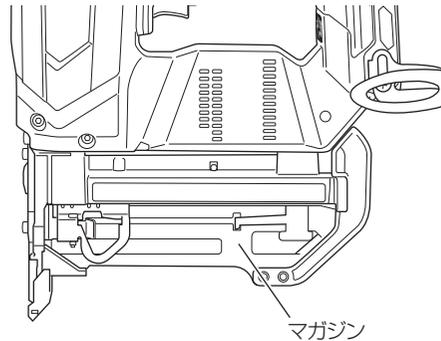
•ドライバブレードの先端が摩耗すると、ステープル詰まりが発生しやすくなります。ステープル詰まりが多発する場合には、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



●マガジンの点検

マガジン内を時々掃除してください。
マガジンに付着したステープルの接着剤、
ごみ、木くずなどを取り除いてください。

注 マガジンが汚れると、ステープルの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。



●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に接着剤、ごみ、木くずがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

注 ●お子様の手が届く場所、持ち出せる場所

- 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所